

傘の煩雑さ、置き忘れ解消

まちづくりや都市デザインなど都市計画全般を請け負う「まちラボトリー」が傘をかばんに固定する「UB-Stocker」(アンブレラストッカー)を開発。片手に傘を携帯する際の煩雑さや置き忘れを解消するアイデアグッズで、今夏に本格的に販売を開始した。

まちづくりや都市デザインなど都市計画全般を請け負う「まちラボトリー」が傘をかばんに固定する「UB-Stocker」(アンブレラストッカー)を開発。片手に傘を携帯する際の煩雑さや置き忘れを解消するアイデアグッズで、今夏に本格的に販売を開始した。

影響分析や施設整備の効率化など、果検証などが主業務で、駅を基点としたまちづくりなど10年、20年の中長期スパンでの都市構想にも携わっている。

商品開発に携わった主任研究員の恒松武さん(36)は「傘があると車内が満員ならつり革が持つていないし、本も読めない。自分は無精なので、あれば面白いな」というところからエンジンがかかった再編、設立しており、「得た」と話す。それまで得意分野は交通計画。交通

つてきた異業種間交流も

中小企業
トピックス

まちラボトリー

田中 睦郎社長

(大阪市西区江之子島1丁目)



片手が空かかっていても、楽に傘を持ち運ぶことができる「UB-Stocker」

開発のきっかけになり、田中睦郎社長(48)は「も

当初はぬれないという視点からビニールで包むのづくりに一生懸命な人

掛け、傘がかばんに触れないよう防水素材をルー

たたちの熱意に触れることができた」と振り返る。

警視庁によると、07年の落とし物1位は傘の34万本。恒松さんは「飲み屋で傘を忘れることもな

かばんに固定するグッズ開発

く、「コンビニで傘を頻繁に買うこともない」とPR。ありそうでなかった商品に、展示会での反応も上々だったという。ノベルティグッズとしても各業界にアピールしている。

純国産であり、生産コストが課題の一つ。量販店や通信販売なども検討中だが、現在は同社サイト(<http://grus.jp>)上のみ取り扱い。恒松さんは「自分の傘を長く使うことができると思う。こんな商品があるといいことを広く知ってもらいたい」と話している。カラビナ、バックルの2タイプで、それぞれ緑、青、橙、ピンクの4色。定価は980円(税込)。現在、送料は無料。問い合わせは電話06(6443)1519同社へ。(藤木俊治)